

- (1) 工事コストの低減  
⑧入札・契約制度の検討

## 仮設工事における VE 提案の採用

### 第 1 輸出貨物ビル増築工事

#### 【施策の概要】

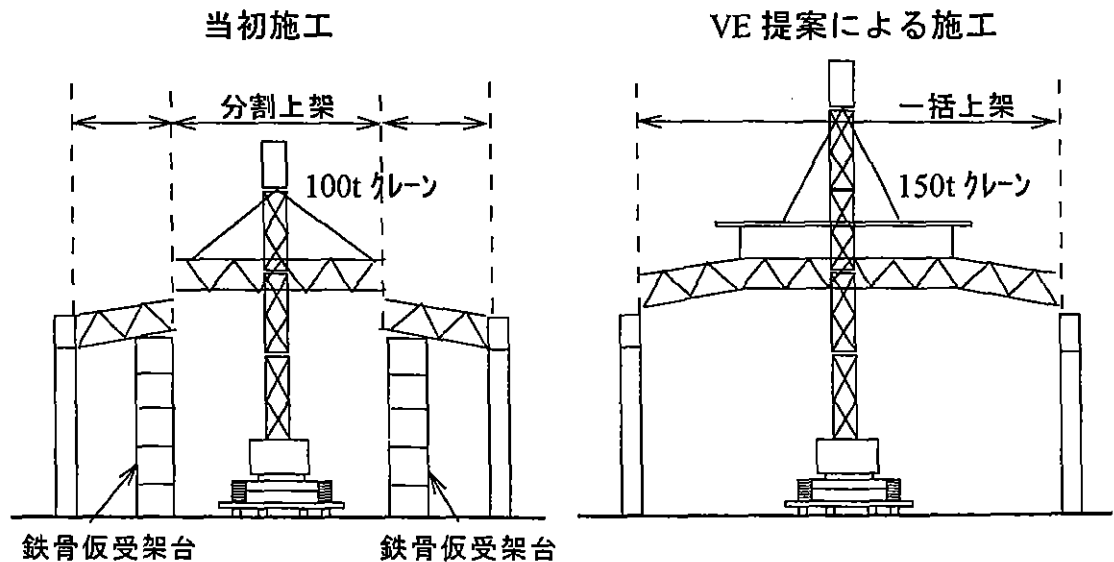
- ・ 契約後 VE を導入した案件において、当初、長大スパン鉄骨梁(約 50m)の架構方法として、支保工を設置し、梁を 3 分割に分けて上架する分割架構方法を採用していたが、VE 提案として請負者より梁を地上で組立、完成させた上、大型クレーンにより一度で上架する方式の提案があり検討の結果採用した。

#### 【施策のポイント】

請負者からの VE 提案のあった方式について以下のことから採用することとした。

- ・ 提案のあった一度で上架する方式は、通常、梁長さ 30m 程度であるが、本工事の請負者は、長大梁スパンの架構経験が豊富であり、技術的なノウハウを十分に有していること。
- ・ 地上で組み立てるため、完成時の精度が向上する。
- ・ 高所作業の回数が減少するため、安全性が向上する。
- ・ 費用の軽減が可能である。

#### 【施策の実施状況・イメージ図】



- ・ 類似の取り組みを行っている工事  
ターミナル地区連続地中壁工事、給油地区連続地中壁工事（現在 VE 提案なし）